



牛

特別企画

「イラン映画を福岡の宝物に」プロジェクト発足記念

イラン映画の巨匠たち

イラン映画を代表する巨匠たちの作品を特集

特別企画

「Wの悲劇」上映

角川映画の代表作「Wの悲劇」上映



©KADOKAWA1984

通常上映

アニメーション映画特集

親子で楽しめるアニメーション映画の上映



白蛇伝



森は生きている

新型コロナウイルス感染防止のため下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

特別
企画

「Wの悲劇」上映

角川映画の代表作「Wの悲劇」上映

会期：7月2日(金)～7月4日(日)

観覧料：500円(均一料金)

※観客は120名まで。自由席。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者及び高齢者「わたくすクラブ」割引なきし。

2(金) 14:00 / 3(土) 14:00 / 4(日) 14:00

Wの悲劇

劇団「海」の次回公演はミステリーの「Wの悲劇」と決定する。主演は劇団の看板俳優の羽鳥翔と五代淳、そして事件のカギを握る娘・和辻摩子役はオーディションで決める事となった。しかし劇団研究生の三田静香は端役しかもらえなかった。そして大阪公演の日、羽鳥翔のパトロンが腹上死する。翔はスキャンダルが女優生命に関わることを恐れ、静香を摩子役に抜擢する代わりに、死んだのは静香のパトロンだとすることを同意させる。

夏樹静子の同名原作の映画化だが、監督の澤井信一郎は劇団内で演じられる芝居を「Wの悲劇」として、バックステージで起きる事件とからめた二重構造のミステリーとした。この変更を原作者は快諾し、舞台劇は蜷川幸雄が監修、演出家として出演もしている。本作はキネマ旬報第2位など絶賛され、薬師丸ひろ子にとっては女優開眼となる作品となった。



監督：澤井信一郎
出演：薬師丸ひろ子 世良公則
1984年/デジタル/カラー/108分/角川春樹事務所

特別企画

「イラン映画を福岡の宝物に」プロジェクト発足記念

イラン映画の巨匠たち

イラン映画を代表する巨匠たちの作品を特集

会期：7月7日(水)～7月25日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)

※「わたくすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)

8(木) 11:00 / 17(土) 11:00 / 23(金・祝) 11:00

ハーモニカ Harmonica

アブドルはみんなにいじめられる少年だった。ところがおじいさんから日本製のハーモニカをもらうと、みんなハーモニカがうらやましくてアブドルにお菓子を持ってくる。次第にアブドルは傲慢になっていく。イスラム革命前のイラン映画の代表的作品。力と権力の構造を寓話的に表現した作品で当時議論を巻き起こした。



監督：アミル・ナデリ
出演：マームド・グダルスィ
シーラ・ダルビシ
1973年/35ミリ/カラー
80分/イラン
日本語・英語字幕付き

8(木) 14:00 / 14(水) 11:00 / 18(日) 11:00

友だちのうちはどこ？

Where is the Friend's Home?

アーマッドは友達のレザのノートを間違えて持って帰ったことに気が付く。アーマッドはノートを返そうと隣村のレザの家を探す。しかしレザの家はなかなか見つからない。さわやかな感動を呼ぶ作品で、秀逸なラストはすべての観客の胸を打つ。世界的に知られるキアロスタミ監督の代表作の1本で、80年代イラン映画を代表する傑作と言われている。



監督：アッバス・キアロスタミ
出演：ボバック・アマドプール
アマッド・アマドプール
1987年/35ミリ/カラー
83分/イラン
日本語・英語字幕付き

9(金) 11:00 / 18(日) 14:00 / 24(土) 14:00

オフ・ザ・リミット

Off the Limits

国家公務員のハリミは、カオス市に家を買う。ところが泥棒が入り、泥棒を捕まえたハリミは警察に連れていくが、管轄外と言われる。ハリミの住所を管轄する部署を探して、ハリミは右往左往してしまう。女性監督ラクシャン・パニエテマッドのデビュー作。社会風刺的な作品で、コメディ的な要素をふんだんに盛り込んでいる。



監督：ラクシャン・パニエテマッド
出演：メヘディ・ハシエミ
バルヴァネ・マスミ
1988年/35ミリ/カラー
92分/イラン
日本語・英語字幕付き

9(金) 14:00 / 15(木) 11:00 / 25(日) 14:00

サイクリスト The Cyclist

アフガニスタンから移民としてイランに来た男は、妻の入院費を稼ぐため、1週間止まらずに自転車をこぎ続けるという見世物を行う。男は広場をぐるぐる回りながら自転車をこぐ。最初は観客は少ないが日がたつにつれ、話題となっていく。すべてのイラン人が見たと言われるほどの大ヒット作。マフマルバフ監督の名を世界的に高めた。



監督：モフセン・マフマルバフ
出演：モハम्मド・セイナルザーデ
エスマイール・ソルターニヤン
1989年/35ミリ/カラー
82分/イラン
日本語・英語字幕付き

10(土) 11:00 / 16(金) 14:00 / 22(木・祝) 11:00

クローズ・アップ Close-Up

失業者のサブジアンは、バスの中で自分は有名な監督のモフセン・マフマルバフだと嘘をつく。著名な監督に会えて喜ぶ人々は彼をもてなす。そしてある家でここで映画を撮ると言い出す。本作は実話に元づくドキュメンタリー映画であり、本人が出演して事件を再現するというフィクションでもある。キアロスタミ監督のこの斬新な手法はイラン映画の中でブームとなる。



監督：アッバス・キアロスタミ
出演：モフセン・サブジアン
モフセン・マフマルバフ
1990年/デジタル/カラー
100分/イラン
日本語字幕付き

14(水) 14:00 / 21(水) 11:00 / 24(土) 11:00

トラベラーズ Travellers

マロクは結婚式の準備をしていた。田舎に住む彼女の姉は、結婚式に出席するためテヘランに向かうが、途中事故で死亡してしまう。結婚式は一転葬式となるが、しかし祖母は「姉はここに現れる」と信じて疑わない。イラン映画の巨匠ベイザイ監督の映画話術の巧みさが効果を上げる作品。イラン国内のファジール映画祭で多くの賞を受賞。



監督：バハラム・ベイザイ
出演：モステフ・シャムサイ
ジャミレ・シェイキ
1992年/35ミリ/カラー
98分/イラン
日本語字幕付き

通常
上映

アニメーション映画特集

親子で楽しめるアニメーション映画の上映

会期:7月28日(水)~8月1日(日)

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)
※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の原本の提示が必要です。)
※幼児は無料ですが、保護者の同伴が必要です。

7/28(水) 14:00 7/31(土) 11:00

おとぎの世界旅行

監督:横山隆一 声:辻村直人 上田敏也
1962年/35ミリ/カラー/76分/おとぎプロ

ソーラン老人とオケサ青年はおんぼろ蒸気自動車ヨサコイ号で、漫画映画を上映する旅に出る。途中でチョイナ少年も加わり、アフリカ、ヨーロッパを経て日本へ。そしてアメリカへわたる。漫画「フクちゃん」で知られる横山隆一のアニメ会社おとぎプロの劇場公開第3作。当時のアニメーションとしてはかなり凝った作りで、バラエティーに富んだ内容が楽しめる。



7/29(木) 14:00 8/1(日) 11:00

ながぐつ三銃士

監督:勝間田具治 声:鈴木ヤスシ 小嶋くるみ
1972年/35ミリ/カラー/53分/東映動画

猫のペロはネズミを助けたことで猫の国王を怒らせ、三匹の殺し屋に追われる。アメリカの西部にきたペロは、少年ジミーと仲良くなり、無法地帯と化した町で、町のボスと対決する。傑作「長靴をはいた猫」(69年)の続編。西部劇のパロディであり、前作同様追っかけっこのギャグが楽しめる。



16(金) 11:00 / 21(水) 14:00 / 23(金・祝) 14:00

魅惑 The Love-Stricken

20世紀初頭。アフマッド国王は音楽を愛しており、イランの音楽をフランスでレコードにすることに。タールの名手である元軍人デルナバスが中心となり、楽団が組まれ、一行はフランスに向かう。しかし財政難で録音はなかなか進まない。アリ・ハタミ監督はイランの文化や伝統を描くことに情熱を傾けた監督。絵画を思わせる美しい映像や音楽が素晴らしい。



監督:アリ・ハタミ
出演:ファラマルズ・セディキ
アミン・タロク
1992年/35ミリ/カラー
91分/イラン
日本語・英語字幕付き

7(水) 14:00 / 10(土) 14:00 / 15(木) 14:00

牛 The Cow

ハサンは村に一頭しかいない牛を飼っており、自分の子どものように溺愛していた。ある日ハサンが外出している間に牛が謎の死を遂げる。村人たちはハサンの事を思い、牛が逃げたと嘘をつく。悲しみに暮れるハサンは次第に牛のようになっていく。イラン映画の巨匠メヘルジュイ監督の監督第2作。イラン映画界に大きな衝撃を与え、興行的にも大ヒットとなる。71年ヴェネチア映画祭で国際批評家を受賞、70年代イラン映画の金字塔と言われる作品。主演のエザトラ・エンテザミは本作がデビューだが、その凄まじい演技で注目された。



監督:ダリユシ・メヘルジュイ
出演:エザトラ・エンテザミ
アリ・ナスリアン
1969年/デジタル/モノクロ/104分
イラン/日本語字幕付き



7/28(水) 11:00 7/30(金) 14:00

白蛇伝

監督:荻下泰司 声:森繁久彌 宮城まり子
1958年/35ミリ/カラー/79分/東映動画

中国・宗の時代。少年シューセンは、パイニャンという少女と出会う。二人は恋に落ちるが、実はパイニャンは蛇の化身だった。それを見抜いた僧の法海は、シューセンを救おうとパイニャンと術比べをする。東映動画の記念すべき長編第一作。また日本初の長編カラーアニメでもある。約100名のスタッフ、9か月の制作期間をかけており、当時としては画期的な事だった。



7/29(木) 11:00 7/31(土) 14:00

どうぶつ宝島

監督:池田宏 声:松島みのり 天地総子
1971年/35ミリ/カラー/78分/東映動画

ジムは港町でホテルを経営していた。ある日船員が宝の地図を残して連れ去られる。ジムは、仲間と宝島を目指して船を出す。ところがシルバー船長率いる海賊に捕まってしまう。スチーブソンの著名な「宝島」をアニメーション映画にしたもの。東映創立20周年作品で、アイデア構成に宮崎駿が参加、テンポの良い娯楽作品である。



7/30(金) 11:00 8/1(日) 14:00

森は生きている

監督:矢吹公郎 声:大竹しのぶ 杉山とく子
1980年/35ミリ/カラー/65分/東映動画

孤児のアーニャは、大みそかに森に薪を集めに行き、モミの木を探しに来た若い兵士と出会う。兵士と一緒に薪を集め、アーニャはお礼に森一番のモミの木の場所を教える。するとわがままな女王は、4月にしか咲かないマツユキ草をとってくるように命じる。ロシアの児童劇の映画化。56年に劇場画としても製作されている。アレクサンドル・ドミトリエフ指揮による、レニングラード・シンフォニック・オーケストラの音楽が素晴らしい。



11(日) 11:00 / 17(土) 14:00
22(木・祝) 14:00 / 25(日) 11:00

特別上映

ホテルニュームーン Hotel New Moon

モナは大学生。父は亡くなっており母親と二人暮らしたが、過保護な母親が嫌になっていた。ある日モナは母がホテルで知らない日本人男性と会っているところを目撃、自分の父親に関する今までの母の説明に疑問を持つ。本作は筒井武文監督がイランの風景と人々に一目ぼれしたことから製作された。母親役のマナズ・アフシャンはイランで国民的人気の女優。日本とイランで撮影された国籍を超えた合作映画である。



監督:筒井武文
出演:ラレ・マルズバン
永瀬正敏
2019年/デジタル/カラー
95分/イラン=日本
日本語字幕付き

※7月11日(日)の上映後、本映画のプロデューサー、ショーレ・ゴルバリアンさんの質疑応答があります。

講演

11(日) 14:30~「イラン映画史の宝物」



講師:ショーレ・ゴルバリアン
(通訳翻訳家/プロデューサー)

イラン生まれ、大学卒業後1979年初来日。1982年よりイラン・イスラム共和国大使館で大使秘書として勤務。1989年帰国後イラン・イスラム共和国放送で「北の国から」「はね駒」など日本作品を紹介、字幕翻訳を担当。1992年再来日し、NHKでの通訳の仕事为契机に日本でイラン映画に携わり始める。多くのイラン映画作者の作品を日本に紹介し、日本映画のイラン公開にも尽力する。2014年より東京藝術大学の特任助教、2019年より客員教授に就任。10数年にわたり、数本の合作映画をプロデュースし、2020年イラン日本合作映画「ホテルニュームーン」の完成後、全国公開中。2018年日本とイランとの文化交流促進の功績を評価され外務大臣表彰、2019年日本映画バンク特別功労賞受賞。2020年旭日双光章を授章。

※講演は有料で「イラン映画の巨匠たち」の観覧料と同額です。※開場は開演の30分前。



	1 木		休 映 日
「Wの悲劇」上映	2 金	14:00	Wの悲劇
	3 土	14:00	Wの悲劇
	4 日	14:00	Wの悲劇
	5 月		休 館 日
	6 火		休 映 日
イラン映画の巨匠たち	7 水		14:00 牛
	8 木	11:00 ハーモニカ	14:00 友だちのうちはどこ？
	9 金	11:00 オフ・ザ・リミット	14:00 サイクリスト
	10 土	11:00 クローズ・アップ	14:00 牛
	11 日	11:00 ホテルニュームーン	14:30 講演「イラン映画史の宝物」
	12 月		休 館 日
	13 火		休 映 日
	14 水	11:00 友だちのうちはどこ？	14:00 トラベラーズ
	15 木	11:00 サイクリスト	14:00 牛
	16 金	11:00 魅惑	14:00 クローズ・アップ
	17 土	11:00 ハーモニカ	14:00 ホテルニュームーン
18 日	11:00 友だちのうちはどこ？	14:00 オフ・ザ・リミット	
19 月		休 館 日	
20 火		休 映 日	
21 水	11:00 トラベラーズ	14:00 魅惑	
22 木祝	11:00 クローズ・アップ	14:00 ホテルニュームーン	
23 金祝	11:00 ハーモニカ	14:00 魅惑	
24 土	11:00 トラベラーズ	14:00 オフ・ザ・リミット	
25 日	11:00 ホテルニュームーン	14:00 サイクリスト	
26 月		休 館 日	
27 火		休 映 日	
アニメーション映画特集	28 水	11:00 白蛇伝	14:00 おとぎの世界旅行
	29 木	11:00 どうぶつ宝島	14:00 ながぐつ三銃士
	30 金	11:00 森は生きている	14:00 白蛇伝
	31 土	11:00 おとぎの世界旅行	14:00 どうぶつ宝島
8/1 日	11:00 ながぐつ三銃士	14:00 森は生きている	

福岡市総合図書館のフィルムアーカイヴには3千本を超える映画が保管されています。特にアジア映画は、アジアフォーカス・福岡国際映画祭で上映された作品を中心に850本を超えています。このアジア映画の収集・保存は世界的に見ても貴重な活動で、日本中のアジア映画ファン、また映画研究者にとってなくてはならない施設となっています。

その中でも特にイラン映画は、中国・韓国・インドと並び60本以上が保管されており、1969年製作の「牛」から現代までのイラン映画の歴史を網羅する、貴重なコレクションとなっています。今後も収集を充実させて、質量ともに世界に誇れるコレクションにしようと、民間の有志が立ち上げたのが「イラン映画を福岡の宝物に」プロジェクトです。

具体的には、イラン映画の歴史に残る優れた作品のデジタル版を毎年2本程度購入して、総合図書館に寄託(将来的には寄贈)していただきます。今回その第一弾として「牛」と「クローズ・アップ」が寄託されました。「イラン映画の巨匠たち」で上映されるこの2作品は、35ミリプリントから作成されたデジタル版です。素晴らしいイラン映画の歴史的名作を、ご堪能下さい。総合図書館としても、このプロジェクトの今後の活動に期待しているところです。



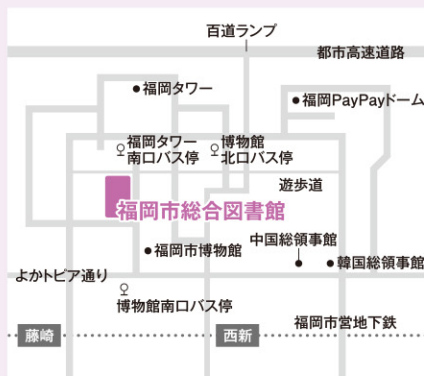
クローズ・アップ

「イラン映画を福岡の宝物に」プロジェクトについて

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター(tel.0570-00-1010)に直接お問い合わせください。助成: 公益財団法人
福岡文化財団

発行: 映像ホール・シネラ実行委員会

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。